



6月8日、八雲町を会場に開催された第10回「岩内町長杯全道少年U-10サッカー大会 函館地区予選大会」で、せたな町のサッカー少年団チーム「せたなジュニアFC (U-10)」が見事予選を突破して全道大会出場を決めました。

せたなジュニアFC (U-10)は、5月18日にせたな町を会場に開催された1次予選ブロックを1位で通過し、6月8日の2次予選リーグを3戦全勝で勝ち抜き、見事、函館ブロックの代表枠を手に入れました。

せたなジュニアFC (U-10) が全道大会に出場するのは、檜山管内のチームとしては初出場となった2005年 (平成17年) 以来、7年ぶりの快挙となります。せたなジュニアFC (U-10) は、7月13日～15日に岩内町で開催される大会に函館ブロックの代表として出場し、全道から集まる強豪チームと全道一をかけて戦うこととなります。

編集後記

●5月～6月にかけては運動会シーズン。母校である北檜山中学校の体育祭の取材へも行ってきました。競技種目も自分が在学していた時からのものもあれば、新しくなった種目もあり、楽しませてもらいました。一方、撮影の方は、今回もタメかと思いきや、意外といい写真が何枚か撮れており、初めて自分の撮った写真をホームページへまともに掲載することができました。(児島)

●今回の特集であらためて南西沖地震から20年も経つことを実感しました。当時私は北檜山在住でヒチヒチの檜山北高3年生。今でも記憶は鮮明に残っています。部屋で横になってたらドーンというものが聞こえて、隣の部屋の弟が本棚でも倒したのかと思って飛び起きたら、家がもう完全につぶれると思うほどの横揺れ。町は騒然となり、その夜は余震でほとんど眠れませんでした。そんな次の日、普通に高校があった。自転車通学の私は、同級生と地震でグチャグチャになった国道をヒビリながらもやっつこと通学。学校に着いたら瀬棚からの生徒は通学できず全員休みで、情報も入らず、登校した生徒の噂で瀬棚と大樽と大成は津波でもすごい被害があったらしい。とか、津波で二本杉右のうち一本が折れたらしい。など、情報が錯綜しているうちに午前授業で帰されたことを思い出します。今回、林さんから貴重な体験談を聞きました。あらためて津波の恐ろしさを知った反面、そんな地震を体験していない児童君も働いているという恐ろしい事実も知りました。(尾野)

